

ら先、移転が完了すれば総合大学としてここ西条に根をおろし、さらに多数の学生が生活するようになるわけである。それ故、大学周

西条に生活して

教育学部 教育学科三学年 松村美紀

広島市内での生活から西条に移つて約四ヶ月、その四ヶ月の間に私が感じたこと、考えたこと等を述べてみたい。

交通について

西条の生活には、車やバイクが欠かせない。（健康や環境のことを考えると自転車がいいのだが……）なにしろ、西条は田舎であるうえに山地である。バスの便数は、もちろん少ない。脚力に自信のある人は自転車でも大丈夫だが、たいていの人は、行動範囲がせまくなつたりして、とても不便である。車、バイクまたは、アッサー君の確保をしていて損はない。

スポーツについて

車を持つと運動不足になる。スポーツは、ゴルフやテニスができる。特にテニスは、大学のコートを予約しさえすれば無料だ。ボーリング場は、近くに一つあるが料金が高いという噂だ。少数派として卓球や水泳（プール）もできる。

アルバイト等について

アルバイトは、条件の良いのを探すのは困難である。先輩等についてがあれば見つかりやすい。

それから、講演を聞いたり、大学外で活動のできる社会教育施設等も少ないので、西条の良い所

辺の居住区の整備、飲食店、小売店の誘致、さらに若者に魅力のある街にするための娯楽施設の拡充を切望する次第である。

生にとって大切なものである。大学に入学することを第一の目的としている学生が多いということをよく聞くが、そういう自分の将来を真剣に考える機会のほとんどなかつた学生にとつては、様々な経験をすることが大切である。その経験を通じて、学生は、自分の適性、興味等をあらためて発見するのだ。

キャンパスの移転について

学生にとつて西条が広島市内にくらべて不利だということは、もう誰の目にも明らかだろう。しかし、西条の環境云々以前に、今がキャンパスの移転の途中だという問題がある。そのため、先輩、後輩という縦つながりができるない、学科単位の行事の連絡が困難である、また、大学内の設備も不完全であるなどの問題がある。

西条は、やはり自然が多い。空気がきれいで、ネオンも少ないので星がよく見える。川岸には螢がいる。山菜や木の実がこれ季節感が味わえる。また、お酒がおいしいという噂だ。それから、東千田キャンパスにくらべれば、校舎もまだきれいである。